

第4検討部会 会議録

会議の名称	第27回 第4検討部会
開催日時	平成20年11月5日(水)午後18時43分から21時20分
開催場所	川口市職員会館 3階 会議室
出席者	(部会長)三宅副委員長 (委員)碓委員、大崎委員、小島委員、堀和委員、湯本委員、吉澤委員
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・素素案について ・素案(たたき台)について ・対話集会での意見について
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・起草委員会における起草方針について ・素素案における各項目の関係 ・(仮称)川口市自治基本条例(素案)作成のためのたたき台 ・対話集会で寄せられた質問・意見集
発言内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今回、起草委員会での起草方針や素案(たたき台)をお示ししているが、各部会から素案(たたき台)に対する意見を出してもらおうということではない。あくまで参考資料である。また、素素案については、前回に引き続き、部会としての統一見解ではなく、委員個人の意見を述べる形で進めていきたい。(部会長) ・部会からの意見はどのような形で起草委員会に伝えられるのか。当部会の意見は、会議録から抽出できると思う。(事務局) ・町内会に関する日経新聞の記事によると、「地域住民のまちづくり活動の活性化は最大の課題であり、こうした課題に市議会や行政がいかに取り組み、行動を起こすかが重要である。」とあった。現在検討中の自治基本条例がこうした課題にどのように対応していくのか、委員の一人として大いに期待している。 ・また、自治基本条例の策定に町会等の代表が参加していないことは残念に思っている。 ・マンションコミュニティ連絡協議会について川口市の広報に掲載されたが、マンションのスラム化など、近年川口市が直面すると思われる課題を踏まえた自治基本条例とするべきだと思う。

- ・本来、自治基本条例の策定にあたっては、町会等の代表者が参加しやすいような形で進めるべきだったと思っている。

素案について

- ・前文には、一度は川口市を訪れたいと思わせるような内容を入れてほしいと思っている。
- ・市政オンブズマンは、特に条文化する必要はないと思う。
- ・また、運用推進委員会については、住民と行政がそれぞれの立場を踏まえて活動するのであれば、設置してもいいと思う。
- ・「川口らしさ」については、以前鋳物工場であったところが次々とマンションに置き換わり、さみしく思っている。

- ・「川口らしさ」が鋳物だという意見もあれば、鋳物工場がなくなっている分、川口市が発展している（人口増加による経済的発展）という構図が成り立つと思う。町会・自治会的に言えば、関係したくない住民が増えている、すなわち既存の町内会等の弱体化を意味していると思う。災害発生や少子高齢化の進展を想定した場合、将来的には非常にまずいことだと思っており、市内にこうした将来不安がある中で、自治基本条例（素案）にはもっと将来の希望が感じられる部分があってほしいと思う。

- ・素案は編集委員会における議論の妥協の産物であるため、個人的には内容に忸怩（＝恥じ入る）たる部分はある。しかし、50人の市民の議論を経たもの（素案）なので、市民の意見を反映したものになっていると思う。従って、川口市の将来を展望した場合、自治基本条例には欠陥があるかもしれないが、民主的な手続きの中でベストを尽くした内容であると思っている。

- ・5つの部会がそれぞれの合意された意見を出すという仕組みの中で素案が策定されてきたので、先鋭的な意見が欠けている（反映されていない）と思う。

- ・素案は各部会の意見の妥協の産物であるため、色々な意見に配慮した内容になっている。素案は素案を基に作成されるので、作成過程で部会の意見を聞く機会を設けてはどうか。

・各委員が部会の枠組みを超えて（テーマに縛られることなく）意見を言う機会があれば、素案はもっと違った内容になっていたかもしれない。

・素案には色々なことが書いてあるので、各委員が自らの考えに基づいて、様々な解釈を引き出すことが可能な形になっていると思う。

（部会長）

・市民が主人公という理念に基づけば、行政評価は外部評価を基本とするべきだと思う。

・対話集会で寄せられた意見の中に、高齢化した社会においてはコミュニティ機能が低下するという問題提起があったが、素案にはこうした問題への対応が書かれていないと思う。

・川口市はマンション住民が非常に多いという特徴を持つが、この点を考慮した素案であってほしいと思っている。

素案（たたき台）について

・起草方針や素案たたき台について、事務局から説明していただきたい。

（部会長）

[事務局から起草方針、素案たたき台について説明]

・まだ、パブリックコメント等を通じて素案に対する意見を募集しているところであり、起草委員会の作業も始まったばかりである。そのため、素案たたき台に対しては、現段階では部会から意見を聞かないことになっている。（部会長）

・素案について、各部会で議論する時間を確保してほしい。

対話集会での意見について

・広報・P Iチームとしては、対話集会で寄せられた質問・意見等は事務局で取りまとめてほしいと考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・特に事務局が取りまとめる必要はないと思う。対話集会の記録をそのまま起草委員会で検討してもらえばいいと思うがどうか。 ・記録については、広報・PIチームが検討すべき事項と運営調整部会が検討すべき事項とを分類したほうがいいかもしれないが、起草委員会で検討する事項はこのままでよい。(部会長) <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話集会で寄せられた意見には検討期間が短すぎるという指摘があり、個人的にも審議する時間を延ばしたほうがいいということを上申してきた。 ・例えば、策定委員会の半数以上の委員が延期したほうがいいと言えば、市長に対して審議期間の延長を提案してもいいと思う。しかし、対話集会の一部の意見を取り上げて、それを一部の委員が賛成する程度では延長はするべきではないと思う。 ・広報・PIチームとして、審議の延長が必要だということで一本化されれば、それを運営調整部会に提案してはどうか。(部会長) ・前回提案した「部会を再編成する」については、これ以上議論しなくてもよい。 ・次回の部会は、12月に入ってから開催したい。理由としては、現在起草委員会において素案を作成しているが、確定するのが12月中旬になるためである。(部会長) <p style="text-align: center;">- 出席者全員了承 -</p>
次回以降日程	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は12月に入ってから開催。